

## 事例から学ぶ

## 介護事故の原因分析と再発防止策検討

## -事故が起きたら事故カンファレンス-

事故が起きたら事故カンファレンスを開いて、事故原因を分析し再発防止策を検討しなければなりません。しかし、事故発生後に事故カンファレンスがきちんと開かれている職場は少ないのが現状です。なぜ事故カンファレンスができないのでしょうか？それは事故カンファレンスの進め方を知らないからです。いきなり事故報告書を持ち寄って頭を突き合わせても、良い再発防止策が思い浮かぶわけがありません。どのように原因分析をして、どのように再発防止策を検討したら良いのでしょうか？本セミナーでは、30分でできる事故カンファレンスの方法をご紹介します、事例を使って具体的な進め方を詳しくご説明します。

## セミナーの概要

## 1. 事故カンファレンスの対象となる事故

- ・防げない事故に再発防止策は存在しない

## 2. 原因分析の方法

- ・3種類に分けて事故原因を洗い出す
- ・直接原因の背後にある隠れた要因を見つける

## 3. 再発防止策の検討方法

- ・3種類の防止対策をバランスよく使い分ける
- ・未然防止策と損害軽減策の工夫が鍵

## 4. 事故事例で模擬カンファレンス

- ・認知症の利用者が肉団子を喉に詰めて誤えん窒息
- ・リフト浴の安全ベルトを装着せずに溺水事故
- ・ショート認知症利用者の行方不明死亡事故
- ・送迎車から降ろし忘れて熱中症で死亡
- ・排泄介助中にセンサーコールに対応し転落事故
- ・ショートで洗剤を異食、家族から異食癖の情報なし
- ・入浴介助中に職員が足を滑らせ転倒

★ご参加の方は事前に事例に目を通してご参加下さい。

➔<http://tiny.cc/hrkh001>

## こんな事故原因を書いていませんか？

離床介助の時、ベッドから車椅子への  
移乗中利用者が急にふらついたため、  
職員が支えきれずに転倒させた

事故原因 ➔

職員の注意力が  
不足していたこと

防止対策 ➔

もっと注意深く  
介助する

◎転倒した原因は職員の不注意と思いついて他の原因を検討していない



## 事故防止対策の新しい考え方

## 1. 未然防止策

事故の根本原因を究明して除去する対策  
《例》転倒の原因となる服薬を見直す

対策の効果 効率



## 2. 直前防止策

根本原因は放置したまま、その場で対処する対策  
《例》見守りを強化する



## 3. 損害軽減策

転倒してもケガをさせない（軽減する）対策  
《例》ヒッププロテクター付きのパンツをはく



## 安全介護セミナー開催要領

- 開催日時：6月9日 13:30～15:00（6月2日締め切り）
- 主催：株式会社安全な介護
- 講師：株式会社安全な介護 代表 山田滋
- 受講料：1施設・事業所（PC3台まで）5,500円（税込）
- 受講方法：Zoomによるオンライン受講
- 提供資料：テキスト（手持ち資料）・お役立ちツール
- 申し込み方法：下記URLからお申し込みいただき、所定の口座に受講料をお振込みください。

<http://tiny.cc/bibuwz>

※安全な介護の顧問先法人は無料ですので申込書にチェックしてください

## 講師プロフィール

山田 滋 早稲田大学法学部卒業と同時に現あいおいニッセイ同和損害保険入社。2006年7月よりインターリスク総研主席コンサルタント、2013年5月末あいおいニッセイ同和損保を退社。2014年4月より現職。高齢者施設や介護事業者と取り組み、現場で積み上げた実践に基づくリスクマネジメントの方法論は、「わかりやすく実践的」と好評。各種団体や施設の要請により年間150回のセミナーをこなす。

セミナーに関するお問い合わせは

株式会社安全な介護 受付担当 森

mail:soudan@nanasha.co.jp